

2019 エンパワメントプログラム 修了



7月29日(月)から8月2日(金)までの五日間にわたり、エンパワメントプログラムが本校にて開催されました。今年度は1年生41名の生徒が参加し、アメリカの大学生5名とや国内の留学生2名を迎えて、身近なテーマからより大きなテーマまで英語でディスカッションをし、プレゼンテーションをしました。



ファシリテータによるガイダンス

グループリーダー(大学生)紹介と挨拶

1日目 プログラム初日は英語コミュニケーション力を高める活動を通して、自分のポジティブな側面について考えました。午後はグループリーダーによるモデルプレゼンテーションを通して、発表の仕方、そして夢の実現への努力の大切さを学びました。まだまだ英語でコミュニケーションをとることに懸命で、生徒たちは緊張した面持ちでした。



2日目 生徒たちは少しずつ雰囲気をつかんできたようで、学生とも打ち解けた様子で活動に臨みました。午前中は、ポジティブシンキングの重要性について考えを深めました。合わせて自分自身と将来について考え、発表をしました。午後は社会問題となっている日本の子供の貧困についてディスカッションを通して理解を深めました。



3日目 午前中はアイデンティティについてディスカッションを行いました。活動中も発表の時も笑顔が多く見られるようになりました。また、間違いをおそれずに積極的に質問し、意見を述べようとする姿勢も見られるようになりました。

昼食時には茶道部によるティーセレモニーが開かれ、学生たちは興味深く日本文化を体験していました。



4日目 日本と海外の大学システムについてディスカッションを行いました。学生たちがそれぞれの大学と今後の進路について語り、生徒たちは彼らの進路に関心を持って聞き入り、自分の目標について考えました。午後は日本と世界の子供の貧困問題に対する方策について考え、ポスターと劇でグループ発表を行いました。初日には見られなかったグループの連携と助け合い励まし合う態度が見られ、笑顔で発表を終えることができました。昼食時には書道体験も行われました。



最終日 プログラム最終日は、本プログラムを通して学んだこと、変化したこと、自分の目標について1人1人がプレゼンテーションを行いました。41名全員が堂々と自分の考えや思いを発表しました。全体に向けての発表は初めてでしたが、臆することなく発表し、自信と達成感、さらに今後の自分の進路を明確にし、修了することができました。

